

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年 2月 3日

事業所名:feel小久保Ⅱ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<p>【各部屋の使用状況】3号室では、主に小集団活動と個別療育を実施しています。個別学習用のテーブル、制作用のテーブル、手先の運動やボードゲーム用のテーブルを設けるなどして、それぞれの活動にゆったり取り組めるようにスペースを確保しています。3号室で個別療育を行う場合には、集中して取り組んでもらえるよう、パーテーションを活用しています。2号室は、必要に応じて、静かにゆったり過ごしたい時やクールダウンのための場所として利用することができます。</p> <p>【安全面への配慮】フローリングの上にジョイントマットを敷き、背の高い家具には転倒防止の伸縮棒を設置しています。運動などの動きがある活動をする時には、机を移動させ、広くしてから活動するなど安全面に配慮をしています。</p>	<p>はい:84.6%    どちらともいえない:7.7% いいえ:        わからない:7.7%</p> <p>・いつも配慮していただきありがとうございます。 ・他と比較しないとよくわからない</p>	<p>・広めのワンルームが2部屋という構造のため、個室が少ないなどの制限はありますが、大小用途に応じたパーテーションや段ボールハウス、折りたたみテントを用意するなどして安心し、落ち着いていただけるスペースの確保に努めています。</p> <p>・入口のドアに自動施錠のシステムを導入し、お子さんの急な飛び出しを防ぎ、事故の防止に努めています。 また、お子さんが部屋を移動する必要がある際は、必ずスタッフ1人が同行するよう徹底しております。</p> <p>・今後も、より安全で快適にご利用いただけるよう環境整備を工夫していきたいと思えます。</p>
	2 職員の適切な配置	<p>【定員】一日の定員は10名までになっています。職員は、常時5名以上配置されています。</p> <p>【専門性】スタッフは全員が有資格者です(保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、看護師、児童指導員等)。スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関の掲示やホームページにてお知らせしています。今後も、スタッフの専門性を活かした療育内容(カウンセリング、制作、身辺自立等)を計画していきたいと思えます。</p> <p>【カウンセリング】カウンセリングやプレイセラピーが必要な場合は臨床心理士や公認心理師の有資格者または受験資格のあるスタッフが対応するようにしています。</p>	<p>はい96.2%    どちらともいえない いいえ        わからない3.8%</p> <p>・相談する時にだれにすればいいか分からない</p>	<p>・来年度以降も、内部研修やスタッフ間の相互理解および交流を図る取り組み、日々のミーティング等を通してスタッフの専門性を高めていきたいと思えます。</p> <p>・ご相談がございましたら、送迎時にお声かけいただくか、毎回お渡ししているスケジュール表の連絡事項の保護者様にご記入いただく箇所にご相談事項を書いていただいたり、お電話やLINE等にてご遠慮なくおっしゃってください。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
・体制整備  3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関や勝手口等の段差については借家のため改修が難しく、ご不便をおかけしております。</li> <li>・お子さんへの分かりやすい支援として、特性に応じて、絵カード等の視覚支援やICT(パソコン・タブレット)の活用、スケジュール化等を行っています。</li> <li>・おやつを選ぶ時には操作できるレプリカの硬貨を活用したり、体調や気分を指差しで表現できるようにバロメーターの表を掲示するなどの視覚支援を行っています。</li> <li>・ごほうびのメダルやシールを掲示したりして、目に見える形で残すことで、達成感を感じていただけるよう工夫しています。</li> <li>・プログラム活動時には、切りかえや見通しが持てるように事前予告の声かけを行ったり、タイマーを使用したりしています。</li> <li>・スケジュール表はお子さんによって作り変え、例えば名前もひらがな、カタカナ、ローマ字等のお子さんにとって分かりやすく、楽しく療育できるようにしています。</li> </ul>	はい:92.3%    どちらともいえない: いいえ:        わからない:7.7%  見学の機会が少なく判断が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きどなたにとっても分かりやすく楽しめる居場所となるよう、事前のお約束や大切なこと等は、口頭だけでなく文字やイラスト、動画等を取り入れたり、個々のお子さんに対応して順を追ってご提示する等の伝える工夫について、より意識して取り組んでいます。</li> <li>・今後、LINE等でお子さまの写真や動画を保護者の方にお送りしようと考えています。またブログやInstagramのお写真を見ていただけましたらお部屋の雰囲気をご確認していただけたと思います。</li> </ul>
4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症や脱水にならないように、一年を通してお子さんに水分補給を促しています。</li> <li>・また、感染症予防のために一年を通して常時換気をしています(猛暑日等は30分に一度換気)。</li> <li>・おやつのはきは使われるたびにアルコール除菌を行ったり、よく使うものに毎日アルコール消毒をしたりしています。</li> <li>・おやつは食べる場所と机を決めて、壁に向かって食べるルールを設定し、前を向いてもらいやすいよう壁に間違い探しを貼ったりしています。また、おやつ前とおやつ後は手洗い、アルコール消毒を徹底しています。</li> <li>・2、3号室に加湿器を置き、風邪やウイルス感染の予防につなげています。</li> </ul>	はい:100.0%    どちらともいえない: いいえ:        わからない:	お子さんが清潔で心地よく安心して過ごせるように、来年度以降も引き続き取り決め等を確認しつつ、適切な換気や消毒等の感染防止対策を、毎日継続して実施していきます。また年に2回の大掃除と3カ月に1回の定期的な掃除の実施を行っていきます。
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りを行っています。		管理職および常勤職員を中心に、毎日情報共有や振り返りを行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他事業所間での情報共有やプログラム、研修内容等、情報交換をしながら業務改善を図っています。		継続していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は、常時5名以上配置されており、全員が有資格者です(保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等)。スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関の掲示やホームページにてお知らせしています。</li> <li>スタッフの専門性を高めるために、学期ごとに1回内部研修を行っています。</li> <li>内部研修では、虐待予防や感染症対策、パワーハラスメント予防、スタッフ同士の交流を深めるためのチームビルディング研修、カウンセリング技能について、不登校への対応について、また新版K式発達検査2020などの研修を実施しています。</li> <li>外部研修では、起立性調節障害、ジェンダーとセクシュアリティ、人材育成、パワハラ防止法、障害のあるお子さんへの性教育のあり方、請求事務、モンテッソーリ療育、乳幼児期の療育や保育、デジタルアートを使った発達支援、応用行動分析、障害をお持ちの方へのスマホ・パソコン入門、WAIS-IV-、いのちの電話、保育所等訪問支援、思春期のお子さまへの支援やリスク対応、進路相談、支援計画の立て方、子どものための地域連携などの研修を受講し、日々研鑽しています。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度以降も、月に1回程度、内部研修を実施する予定です。また、積極的に外部研修等も受講し、お子さんの療育や、保育所等訪問支援の保護者さまへのご相談に役立てられるようお子さんの将来的なビジョンを考慮しつつ専門性を高めていけるように努めていきます。</li> </ul>
適切な支援	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>WISC-IV知能検査やKABC-II心理検査、行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、支援計画を作成しています。</li> <li>お子さんご本人の願いや将来への思い、保護者の方の願いに即して作成させていただいています。</li> </ul>	はい:88.5%    どちらともいえない:3.8% いいえ:        わからない:7.7%	引き続きご本人や保護者の方の願いに沿った支援計画の作成や、検査や聞き取り等の多角的な視点からのアセスメントを、継続していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別でお友だちとの関わり方の練習を行ったり、お仕事課題を先に支援員としてから集団活動の中でも実践するなど、個別と集団が連動するような療育も行っています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
の提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標では1ヶ月～6ヶ月でお子さんが達成できそうな項目にポイントをしぼり、普段の様子や保護者の方の聞き取り等を参考に具体的な支援を検討しています。支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要か(例えば、自分で時間管理ができるようになるため、①タイマーを鳴らして声掛けをする。②タイマーを自分でセットする。③自分で時間を見て行動する等)について記載し、作成させていただいています。	はい:96.2% どちらともいえない:いいえ: わからない:3.8%	今後も、支援目標を達成するために必要となる働きかけや声かけ等についても、併せて支援計画に記載させていただきます。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って日々の活動内容を検討し、支援計画以外でも必要と感じる項目は、お子さん・保護者の方と相談しながら療育のプログラムに入れるようにしています。	はい:96.2% どちらともいえない:いいえ: わからない:3.8%	支援計画を遵守しつつも、必要な方には、随時必要な療育プログラムを実施させていただきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・SST、制作(ビジュントレーニング)、運動のプログラムについて2名以上のスタッフでチームを組んで立案し、立案したものをミーティングの中でも協議しています。 ・それぞれの活動を連動させています。例えば運動プログラムで「人間すごろく」を実施し、各マスに「お友だちに挨拶をしてみよう」などのコミュニケーションに関わる内容を入れるなどして、運動プログラムにSSTの内容を取り入れたりしています。		継続していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日は学校終了後のため、宿題や余暇など本人の気持ちや体調等に応じて活動する順番を考慮しています。また、休日のことも考えて宿題の提供内容や枚数を決めています。 ・長期休暇時にはクッキングやお買い物等、社会体験の一環として、普段できない活動を取り入れ、楽しく生活習慣が身に着くようにしています。		今後もお子さんや保護者様のご希望、ご感想等を大切にしつつ、長期休暇中のプログラム等を企画していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団活動では、1週間ごとにプログラムを変更し、SST、制作、運動、手先のお仕事などの活動を行っています。また、計画したプログラムでもその日のお子さんの様子に合わせて柔軟にアレンジし、参加しやすくなるよう工夫しています。</li> <li>・個別療育では、お子さんの理解度に合わせてたり、興味のあることなどを取り入れたり、お子さんと保護者の方からのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えています。</li> <li>・長期休暇時にはクッキングやお買い物学習等、いつもとは違う活動をしています。</li> </ul>	はい:92.3%    どちらともいえない: いいえ:        わからない:7.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ヶ月分のプログラム内容を毎月1回、ホームページとInstagramに投稿し、ご紹介しております。</li> <li>・今後も継続して、毎週異なる運動、SST、制作のプログラムを実施していきます。</li> </ul>
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週はじめに各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフで共有したり、ロールプレイや話し合いを行ったりして、プログラムのイメージがしやすいように工夫しています。</li> <li>・小集団プログラム実施時の準備物や机や教材等の配置や、小集団活動でのプログラムの役割分担等について、シートを活用して決定しています。</li> </ul>	/	継続していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に出勤するスタッフに情報が共有できるよう、小集団活動のプログラムについて良かった点や反省点を記述したり、小集団活動のチェックリストにスタッフの振り返りを記載したりしています。</li> <li>・また、メモやホワイトボードを活用する等して、必要な引継ぎを行っています。</li> </ul>	/	継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・個別、小集団療育ともに保管用の記録と保護者向けのスケジュールを記載しています。 ・ミーティングを通して、気になったことやよかった支援などを話し合い、良かった支援はスタッフで共有して継続しています。 ・また、家庭や学校、フリースクールとのお話の中で、より細かなお子さんの状況を教えていただくことで、より多角的な面から検証できるよう努めています。		継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ミーティングの中で計画の見直しをし、1～6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。		継続していきます。
関係機関との	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	日程調整ができた時には、児童発達支援管理責任者、個別担当が出席し、情報共有や役割分担について話し合っています。		継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要なお子さんにご利用されていませんが、保護者の方のご要望に応じて保健、医療、障害福祉、学校との情報共有や支援会議を実施しています。		継続していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要なお子さんにご利用されていませんが、お子さんが通院している病院との連携のため主治医からのアドバイスを参考にさせていただいたり、協力医療機関(あだちこども診療所:加古川)と情報提供・共有をさせていただいています。		継続していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援や、小・中学校との間で、必要に応じて支援方針や方法、対応について情報共有させていただいたり、小中学校への訪問活動を通じてより細かな移行支援につながるよう働きかけています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
の 連 携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	卒業後に、障害福祉サービス事業所をご利用の方がこれまでにおられなかったのですが、今後もしご利用の方がおられましたら、必要に応じて情報提供・共有ができましたらと思っています。		継続していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフが自治体や学会、LDセンター等が主催する専門機関での研修を受けています。		継続していきます。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度は交流する機会がありませんでした。	はい:42.3% どちらともいえない:11.5% いいえ:7.7% わからない:38.5%	お子さんや保護者様のご要望やご意見を尊重し、感染状況などの社会情勢にも配慮しつつ、機会がありましたら検討したいと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	毎朝の事業所前の清掃活動時に地域の方とお話をさせていただいたりすることで、どのような事業所かを知ってもらい、ご相談しやすくなるよう努めています。		継続していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	最初の契約時に、支援計画の説明、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ています。	はい:100.0% どちらともいえない: いいえ: わからない:	・長期休みイベント時の費用については、イベントのご案内の文面に料金の目安を記載しております。 ・かかった費用は、お迎え時に個々にお伝えさせていただいております。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の書類を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者の方と情報共有したり、対応についてのアドバイスをさせていただいたりしています。	はい:100.0% どちらともいえない: いいえ: わからない:	継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者向けに学期ごとに1回、計3回のペアレント・トレーニングの研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけになったり、学校などの関係機関との話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。今年度は1学期にお子さまとのかかわりや声かけの仕方、2学期にアンガーマネジメントの研修をしました。3学期にも生活習慣動作の身に着け方についてペアレントトレーニングを実施予定です。	はい:96.2% いいえ: どちらともいえない: わからない:3.8%	コロナ禍において、今年度も研修および交流会はzoomを活用したオンライン形式にて実施させていただきました。研修内容等はLINE、書面にてご案内させていただきました。感染拡大状況や保護者様のご希望を踏まえ、実施が可能になりましたら、今後、ご来所での研修や交流会も検討したいと思います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・個別療育での状況や課題はスケジュールに記載してファイルに挟んでお渡ししたり、取り組まれた課題を一度ご家庭に持ち帰って頂いたりしております。 ・小集団の様子はお迎えに来られた際に口頭でお伝えしています。 ・お子さんの対応や学校との連携については、随時お時間をとらせていただき、ご相談させていただいています。	はい:84.6% いいえ: どちらともいえない:11.5% わからない:3.8% 担当者と話す機会がない	お迎えの時間が他のお子さんと重なる場合や駐車場の数に限りがある関係で、担当者が療育内容をお伝えすることができない場合やご相談に応じることが難しいことがあります。ご相談等でお時間をいただくものは改めて日時を設定させていただき、ゆっくりお話できる時間を作らせていただきますので、お気軽にスタッフにおっしゃってください。月～金曜日の14時前まで、または土曜日の14時以降のお時間でしたら、ゆっくりお話することができます。ご来所が難しい場合はお電話やZOOM、LINE等でお話することも可能です。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・随時、ご相談に応じたり、気になることや嬉しかったことがあった場合にはこちらからも保護者の方に声をかけて成功の追及をしています。 ・ご希望の方には継続したカウンセリングも行っています。	はい:88.5% いいえ: どちらともいえない:11.5% わからない:	・私のスマホからの通話が5分しか無料で話せないで、LINEから電話ができるようにしてほしいです。 ・いつも子どもにも保護者にも寄り添ってくれるので、安心して通っています。



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
・ 連携 支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	学期に1回は保護者交流会やペアレント・トレーニングなどの勉強会を開催し、平日だけでなく土曜日にも開催することで出席していただきやすくなるようにしたり、早めにご案内を配布しています。研修後に、保護者交流会を続けて行い、普段のお子さんとの関わりで気になることや上手いといった対応等についてお話していただいています。 交流会やペアレント・トレーニングのご案内につきましてはLINEにて保護者様にお伝えしております。	はい:92.3% いいえ: どちらともいえない: わからない:7.7%	・zoomでの保護者交流会について、なるべく同じ事業所の方同士でお話していただけるよう、事業所ごとに開催日を設定しております。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・契約時に苦情相談の担当者や事業所以外での窓口についても説明しています。 ・普段から気になったことを相談しやすいような関係づくりを行っていきたくと思っています。	はい:88.5% いいえ: どちらともいえない:3.8% わからない:7.7% ・伝えたいことがある時に、折り返し電話をして頂けて嬉しかったです。速い対応で助かります	今後も、契約時に苦情相談担当者や苦情担当窓口についてご説明させていただくと同時に、普段から気になったことをご相談していただきやすいような関係づくりや迅速な対応に努めてまいります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・お子さんや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にしています。行き違いが生じることがなくなるよう、お電話や直接お話させていただいた内容を改めてメモやメール等でお伝えすることを心掛けています。 ・お子さんの特性によって、文字を紙に書いたり、絵で表したり、大事な話を先にしたり、何回かに分けてお伝えしたりしています。	はい:96.2% いいえ: どちらともいえない:3.8% わからない: 誰に相談すればいいかわからない。	・ご相談をするスタッフについてお困りの場合は、所長にお声かけください ・ご送迎いただく際に、スタッフにお声がけいただくか、個別療育でお渡しするスケジュール帳でのご相談やお電話やLINEでのご相談も可能ですので遠慮なくおっしゃってください。 ・行き違いが生じないよう、お電話やお話しいただいた内容を改めてLINE等にてお伝えする等の工夫を、今後も継続させていただきます。 ・口頭だけでなく文字やイラストでもご提示する等、お子様の特性に応じた情報伝達ができるよう、今後さらに意識して取り組んでいきたいと思っております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要は1ヶ月に1回、ブログやInstagramにアップしています。行事やアンケートがあるときにはGoogleフォームやLINEでのお知らせおよびお便りの配布にてお知らせしています。	はい:100.0% いいえ: どちらともいえない: わからない: ・LINEのタイムラインに上がった情報がある場合には、LINEにもメッセージが欲しいです。が、私が気付いてないだけかもしれません	2023年1月から、1ヶ月分のプログラム内容を毎月1回、ホームページとInstagramに投稿し、ご紹介することとなりました。LINEのメッセージ欄にもその旨投稿させていただく予定です。個人のスケジュール表にも取り組んだ内容の詳細を記入していきたいと思っています。	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・契約時の個人情報についてのアンケートをもとに、玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報に鍵付きの書庫に保管しています。またご利用の方の個人情報は鍵がかかる場所に保管し、閉所後は施錠しています。 ・スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守するよう説明しています。 ・スタッフには雇用契約の際に個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っております。	はい:96.2% いいえ: どちらともいえない: わからない:3.8%	・引き続き、個人情報は鍵がかかる場所に保管させていただき、スタッフの秘密保持の遵守を徹底させていただきます。 ・管理職会議や日々のミーティング等を通して、より安全に個人情報を保護できるよう、今後も、意見を出し合っていきます。	
非常時	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTの中で不審者対応を行ったりしています。 ・感染症についてはマニュアルに基づいて対応を考えています。	はい:96.2% いいえ: どちらともいえない: わからない:3.8%	・不審者対応のSSTのプログラム内容や避難訓練でのご様子等について、引き続き、事業所ホームページのブログやInstagramでご紹介していきたいと思っています。 ・感染症対策としてスタッフやお子さんに抗原検査キットを使用することがあります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・地震・不審者・水害・てんかん発作等への対応や避難訓練を実施し、水やお菓子の備蓄をしています。避難訓練は、学期ごとに1回以上実施しており、非常食を非常カバンの中に入れてすぐに持ち出せるようにしています。 ・緊急で薬が必要な方は個人ファイルに保管しています。	はい:88.5% いいえ: どちらともいえない:3.8% わからない:7.7%	避難訓練の取り組みや訓練当日のご様子等について、引き続き、事業所ホームページのブログやInstagramにてご紹介していきたいと思っています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新人スタッフ、継続スタッフそれぞれに虐待防止の研修を行ったり、毎日のミーティングの中でのお子さんへの対応について話し合ったりしています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
等の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	半年に一回保護者の方とお話をさせていただき、ご署名をいただいています。また年に2回会議の場を設けて職員の話し合いもおこなっています。		継続していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあり、指示書が必要な方には記載していただき、支援員がすぐに確認できるようアレルギーのあるお子さんの名前をおやつ棚に表記しています。など		継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	お子さまの安全に関係する事等、ミーティングで話し合った後に、ヒヤリハット報告書を作成し、対応策を考えています。また大久保・西明石・小久保の事業所とも個人情報伏せの上で情報共有を行い、同様の状況が起こらないよう努めています。		継続していきます。

<その他いただいたコメントのご紹介>

- ・毎回すごく楽しみにしています。
- ・feelさんの建物が見えたらニッコリして、嬉しそうにしている早く部屋に入りたそうにします。
- ➡**お子さまに楽しんでご来所いただき、療育に参加していただけるよう、今後も様々なプログラムを取り入れ取り組んでいきます。**
- ・どの先生方もお会いするといつも笑顔で声をかけてくださるので、親子共々うれしく、寄り添っていただいていることに感謝しています。ありがとうございます。
- ・いつも大変お世話になっています。最初は行くのを嫌がっていましたが、子どものペースに合わせて接していただいたり、不安なく過ごせる場を作っていただいたりしてもらったお陰で今では行くのを楽しみにしております。親としても感謝しています。ありがとうございます。これからもよろしく願います。
- ➡**いつもお忙しい中、送迎にご協力をいただき大変感謝しております。今後も保護者の方やお子さんに寄り添い、お子さんの特性やペースに合わせた療育内容をご提案するとともに、安心して過ごしていただける場となるよう環境を整えていきます。**
- ・いつもありがとうございます。お友だちとの付き合い方で悩むことがありました。何かありましたら連絡ください。よろしくお願いします。
- ➡**個別療育はもちろん、小集団活動でもお友だち同士の交流の中でよりよいコミュニケーションにつながるよう適宜お声がけさせていただきます。気になるご様子がある時には保護者の方にご相談をさせていただきます。**
- ・匂いの問題についてはいつも考えていただきありがとうございます。ただ、類似の匂い等がある場合の対処も考えてもらえたら助かるなあとは思っています。(例えば、取り除くことができない場合とか、初めて行った場所で勉強しないといけないけど、匂いがキツイとか)なかなか難しいとは思いますが、よろしくお願いします。
- ➡**お子さんの気持ちに寄り添いつつ、気になることなどについて一緒に考えていけたらと思います。**